

## 【講義 04】失語症とコミュニケーション支援

科目	テキスト	時間
失語症とコミュニケーション支援	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分

### 研修のねらい

失語症についての基本的なイメージを持ち、具体的な対応の要点を理解する。

### 研修内容

失語症とは何か。  
適切な対応方法

番号	スライド	注意事項
10	<p>失語症の症状 聞く側面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 聴力の問題ではない。</li> <li>✓ 聞いて理解することが難しい。</li> <li>✓ 複雑な内容や長い文、また話し方が早いと理解は特に難しい。</li> <li>✓ 復唱はできてても意味を理解していない場合がある。</li> </ul>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目ごとにスライドをクリックしてください。</p>
11	<p>失語症の症状 話す側面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ わかっているけど言いたいことが出てこないことがある（喚語障害）。</li> <li>✓ 言い間違えて別のことを言う（みかん⇒リンゴ、みたん）</li> <li>✓ 意味が分からない発話になる などの場合がある。</li> <li>✓ 流暢・非流暢 滑らかな話し方、たどたどしい話し方</li> </ul>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目ごとにスライドをクリックしてください。</p>
12	<p>失語症の症状 読む側面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 文字は見えていても意味が理解できない。</li> <li>✓ 一般には漢字が仮名より理解しやすい場合が多い。</li> <li>✓ 声に出して読むことが難しくなる。</li> <li>✓ 音読ができてても、意味は理解できていない場合がある。</li> </ul>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目ごとにスライドをクリックしてください。</p>
13	<p>失語症の症状 書く側面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 書こうとする文字が思い出せない。</li> <li>✓ 文字を書き誤ることがある。</li> <li>✓ 一般には仮名が漢字より難しい。</li> <li>✓ 文法の問題もあり、文章を書くことは特に難しい。</li> </ul>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目ごとにスライドをクリックしてください。</p>

<p><b>15</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>失語症のタイプ</b></p> <p>代表的なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ブローカ失語 聞いて理解する能力に比べ話す能力の障害が重い。 運動麻痺を伴うことが多い。</li> <li>✓ ウエルニッケ失語 話す能力に比べ聞いて理解する能力の障害が重い。</li> </ul>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目でスライドをクリックしてください。</p>
<p><b>18</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>失語症の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 言語機能の障害がある。</li> <li>✓ 大脳の損傷部位によって症状が異なる。</li> <li>✓ 症状の重症度も人によって異なる。</li> <li>✓ 運動麻痺を伴うことも多い。</li> <li>✓ 困っていることを自分で人に伝えられない。</li> </ul>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目ごとにスライドをクリックしてください。</p>
<p><b>19</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>失語症に伴って生じる問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 障害が理解されにくい</li> <li>✓ 社会から孤立しがち</li> <li>✓ 自分に自信が持てない</li> <li>✓ 家族もストレスが多い</li> <li>✓ 社会保障が不十分</li> </ul>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目ごとにスライドをクリックしてください。</p>
<p><b>20</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>病前と同じに保たれる能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 知的機能</li> <li>✓ 状況の判断</li> <li>✓ 社会的礼節、場面に応じた対応</li> <li>✓ 時間、場所、できごとの記憶</li> </ul> <p>➔ 失語症のある人とのやり取りに活用できる</p>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目ごとにスライドをクリックしてください。</p>
<p><b>21</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>合併しやすい症状</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 気分の変化が激しくなることがある。</li> <li>✓ 疲れやすい、集中力が低下する、などのことが見られる。</li> <li>✓ 同時に複数のことの処理が難しいことがある。</li> </ul>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目ごとにスライドをクリックしてください。</p>
<p><b>22</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>会話の基本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 本人の意向を確認する。</li> <li>✓ 本人の人格を尊重し、対等の立場で話をする。</li> <li>✓ 落ち着いた雰囲気です話をする。</li> <li>✓ 本人を不安な気持ちにさせない。</li> </ul>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目ごとにスライドをクリックしてください。</p>

23	<p style="text-align: center;"><b>全般的な留意点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 本人のわずかな変化に敏感に対応する。</li> <li>✓ 適切な距離をとり、表情を見ながらゆっくり話しかける。</li> <li>✓ 相手の表情や動作をよく見る。会話に役立つたくさんの情報が含まれている。</li> <li>✓ 本人のはっきりしない反応をうやむやにしない。はっきりしない反応の中に本当に伝えたい内容があることも多いので、確認をする。</li> </ul>	<p>講義をされる方は ✓ のついている項目ごとに スライドをクリックしてください。</p>
24	<p style="text-align: center;"><b>事例：翌日の医師の診察について 施設職員が説明した場面</b></p> <p>明日、8月10日（火）は午後1時から医師の診察があります。受診の前に検尿と血液検査をしますので2階の処置室に12時半までにいらしてください。尿を提出して採血が終わったら今度は1階の診察室に行ってください。やっていただくことがたくさんありますので、昼食は11時半からになります。</p>	<p>講義をする方は かなり早口で読み上げてください。ここで受講生に理解してもらおうように読む必要はありません。</p>
25	<p style="text-align: center;"><b>理解面を補う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゆっくり、はっきり話す</li> <li>× 早口や不明瞭な話し方</li> <li>○ 短く、わかりやすい言葉で話す</li> <li>× 長々話すことや難しい熟語</li> </ul> <p><b>悪い例：</b> 「あ・し・た・し・ん・さ・つ・が・・・」 「あ～し～た～し～ん～さ～つ～が～・・・」</p> <p><b>良い例：</b> 「明日、診察が、あります。1時からです。・・・」</p>	<p>講義をする方は 1音ずつ区切って読み上げて ください。</p> <p>講義をする方は 1音を引き延ばして読み上げて ください。</p> <p>講義をする方は 文節ごとに間を取って読み上げて ください。</p>
35	<p style="text-align: center;"><b>資料 失語症について</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相手の話や声は聞こえていても、話の内容が理解できないことがある。</li> <li>2. 聞いてもらいながら実物や文字など視覚的情報も併用すると理解が深まる。</li> <li>3. 話すことが難しい場合に「あいいうお」の50音表ではなく、実物や絵、漢字などを指さしてもらう方が有効である。</li> <li>4. 話すことが難しい場合には「何が食べたいか」という質問より「はい」「いいえ」で答えられる質問の方が答えやすい。</li> <li>5. 失語症のある人の言っていることがこちらにわからない場合に、わかったように相槌をうつのは避け、わからないことを伝え、わかる努力を続ける。</li> <li>6. 失語症になってもその人らしい人格は変わらない。</li> <li>7. 失語症のある人は記憶や周囲の状況の理解は保たれている。</li> <li>8. 失語症があっても地図やカレンダーは理解できる。</li> </ol>	<p>講義をする方は以下のように伝えてください。質問があれば回答してください。</p>